文化の風 南から

枕崎の芸術・文化の各分野で活躍している方々のエッセイを毎月紹介します。

音楽のパワーで復興支援「KAGOSHIMA MUSIC AID」

カゴシマ ミュージック エイド

ARTSは枕崎を拠点に1991年に結成、昨年結成20周年を迎えたバンドで、ジャマイカ生まれの陽気な「スカ」というジャンルの音楽をやっています。メンバー8人はそれぞれ本職をもち、年齢は30～40代。私がオーナーを務めるライブバーSHELTER（シェルター）に集まる音楽好きに声をかけて集まった仲間で構成されています。結成してからSHELTERを本拠地にライブ活動を重ね、2002年に「GO! SKA GO!」という曲で全国デビューしました。デビューといっても音楽はあくまでも趣味の範囲内でやっているもので、拠点は枕崎のまま、本職の仕事をこなしながら音楽活動をしているのです。デビューアルバムは約2万枚売れて全国でも名が知れたバンドになり、県外でのライブも増えました。

「枕崎にスカバンドが存在する」こと自体驚かれることも少なくありません。今では鹿児島でのスカバンドの先駆者、そして鹿児島を代表するバンドになれたと自負しています。ARTSが県外でライブするとき必ずMCで「鹿児島代表！フロム枕崎！ARTSです！」と自己紹介します。ここ枕崎で生まれ育ったこと、そして枕崎で素晴らしい仲間に出会えたことを誇りに思いながら活動を続けています。

私も今年50歳を迎えますが、音楽に対する情熱は冷めるどころか年々強くなる一方です。6年前からはもう一つのスカバンド「BON DX」も結成し、昨年は両方のニュー・アルバムを同時発売して、年間100本ものライブをこなしました。今後もここ枕崎、そして鹿児島のバンドであることに誇りを持ちつつ活動を続けていきたいと思っています。

▼私が成し遂げたいプロジェクトが一つあります。東日本大震災から1年が過ぎました。あらためて亡くなられた方のご冥福と被災地の一日も早い復興を祈るばかりです。いや、ただ祈るばかりでは何も始まらないと今年の3月11日に「KAGOSHIMA MUSIC AID」なるプロジェクトを発動しました。発起人と総指揮は私です。

このプロジェクトは鹿児島のミュージシャンが集まり、みんなで曲を演奏・歌唱・録音して、オリジナルCDを発売、その売り上げ全額を復興支援義援金として役立てようというものです。楽曲はこのプロジェクト用に作った「時の記憶」というオリジナル曲を使用します。作詞はBON DXのドラマー東、そして作曲は私です。歌詞の内容は「この痛みをけして忘れないで、あの平和を取り戻すために少しずつ前に進んでいこう」という内容のもの。

私はいまだ被災地にも行ってないし、ボランティア経験もありません。そんな私たちでも何か役に立てないだろうか考えました。結論はやはり「音楽で力になる」ということでした。それも一つのバンドではなく、たくさんの鹿児島在住のミュージシャンたちの力を借りてやってみようと。皆でやれば個々でやるよりもはるかに大きなパワーがあるはずだから。

人選したミュージシャンは、若手からベテランまで老若男女さまざま。無論全員がボランティアで快く引き受けてくださった人ばかりです。遠い鹿児島からもこうしてエールを送っていきたい、少しでも力になりたいと。みんなが一致団結して、夏発売に向けてこのプロジェクトはすでに動き出しています。まだ私個人の考えですが、集まった義援金は、できれば被災地で音楽をする人に何らかの形で役立てればと思っています。その相乗効果として、結果鹿児島のミュージシャン同士の交流、結束、士気向上、そして音楽シーンの活性化にもつながっていければという願いもあります。

KAGOSHIMA MUSIC AID（KMA）、必ず成功させたいと思っていますので、皆さんもご協力よろしくお願いします。

“BON„ 井上良久
いのうえ・よしひさ

1962年生まれ、緑町。『ARTS』のリーダーでトロンボーンとボーカルを担当。2006年には自身のソロユニット『BON DX』を結成。全国を舞台に精力的に活動中。

新刊紹介

●無双の花　葉室麟（著）
○としょかんねずみ　ダニエル・カーク（さく）わたなべてつや（やく）

注目本
●金の成る木／シドニィ・シェルダン（作）天馬龍行（超訳）
○図解東京スカイツリーのしくみ／NHK出版（編）
●一般書　○児童書

ホームページ（市からのお知らせ）に、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板（玄関前）でもすべてご覧いただけます。

4/23～5/12は「こども読書週間」～標語「君と未来をつなぐ本」

「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから1959年に誕生しました。幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物ごとを正しく判断する力をつけておくことがこどもたちにとってどんなに大切なことか。

子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

★ 雑誌リサイクルデー

保存期間の過ぎた雑誌（平成21年7月～12月分）を差し上げます。
日時　4月16日（月）　午前9時30分～

★ 人気キャラクターせいゾロリ！展

子どもに人気の新旧キャラクターの絵本やよみものを多数集めました。
期間　4月24日（火）～5月12日（土）
場所　1階カウンター前、2階に展示

図書館だより No.240

市立図書館　72-9254
★開館時間 9：30～18：00

カレンダー　4月11日～5月12日

日	月	火	水	木	金	土
		4月	11	12	13	14
15	★16	17	18	19	20	21
22	23	★24 5月	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

□休館日　★イベント

■枕崎弁「すんくじら狂句」の答え…ひなが気になります

枕崎弁『すんくじら狂句』

庭先っかい　つん切ぃ墓さめ（はが）　ぬしとごろ（日之出太郎）
居る居る！花泥棒は罪にならんとかいうバガな言葉があるせいで、他人んげん植木や鉢まで盗んどが。こらあ、そんたヌンだっとそら！ちがむっどね。

（唱）日本一美ごっか　枕崎墓地
櫻咲け　青空もどれ　人笑へ（ドモタロオヂ）
大震災、一周忌3・11は、天皇陛下の御言葉に車中で涙があえだち、こん作者は言ってました。

（唱）瓦礫の上に　花の一輪
身をよぢい　跳ねっメメジの　逃げ惑う（唱）オイがあんこも　そぬんごっあら　ゆっかせん　お前にだげは　ゆっかせん（唱）あいだもこらさ　こなってくいやい　春風が　時間を止める　華吹雪（唱）そしたよが句を　詠んでくるんな

謎掛け
「三人官女」とかけてなんととく
「巣立つ前の親」ととく、そのこころは？
※右☞左下に答え

■投稿は総務課秘書広報係 TEL72-1111（内線211）
■句の詳細はネット「すんくじら狂句会」↓ http://www.voiceblog.jp/kukai/

クイズ！カツオぞりゃ

■昔は花見デバイといって各集落総出で花見をしたと言われています。その中でも二十日馬駆けという催しが行われていたのは次のうちどの公園でしょう。

①松之尾公園　②片平山公園
③瀬戸公園　④台場公園

今月のプレゼント

ふりかけおかか、まぐろしぐれ煮セット（5名様）
【提供】地場産業振興センター

お便り紹介

邪馬台国が枕崎にあったのではないか、片平山、岩戸山、園見岳のいずれかに卑弥呼の墓、または合同墓地があったのではないかと、その地形を調べています。写真は昭和44年の片平山での合同運動会の風景です。段々状の観覧席は戦時中に市民の方々が勤労奉仕でグラウンドと一緒に造ったそうです。南溟館近くの鳥居と祠のある丘のグラウンドそばの斜面です。当時この工事に携わった方から話を伺いたいです。また、この付近の古い写真があったらぜひ拝見させてください。（埼玉県・酒井隆・84・男性）

若輩者のカツオドリは初めて見る写真です。当時のことに詳しい方がいましたら総務課秘書広報係（TEL72-1111内線211）までご連絡ください。

木口屋の名所、旗山へピクニック。自分で作ったサンドイッチを携えて一人で登る春の午後。いい眺め。この景色をいつか二人で見られたらなぁ。僕は元気だよ。（美山町・はかせ・27・男性）

旗山からの眺めを独り占め！いいね！大勢でツアーを組んでみちゃいなよ。参加者の中に素敵なパートナーが見つかるかもよ。

★**応募方法**　ハガキもしくはメールにて①氏名②ペンネーム③住所④電話番号⑤年齢⑥性別⑦クイズの答え⑧本紙へのご意見やご要望、枕崎への想いや身近にあった出来事などを記入の上応募ください。いただいたお便りは、ご紹介させていただく場合があります。文章は添削させていただく場合があります。
★**応募先**　〒898-8501　枕崎市千代田町27番地「枕崎市役所総務課秘書広報係」宛
E-mail：koho@city.makurazaki.lg.jp
★**応募締切**　5月2日（水）　※当日消印有効
★**当選発表**　当選者には総務課秘書広報係から連絡します。賞品を同係まで取りにきてください。
★**問合せ**　総務課秘書広報係　TEL72-1111（内線211）

読み聞かせボランティアグループ「のはら・S」のみなさん。

フ	ナ	ド	メ	シ	■
キ	レ	ジ	■	ラ	テ
ノ	■	ヨ	コ	ハ	マ
ト	ラ	ウ	マ	■	■
ウ	イ	■	ミ	ル	ク
■	ス	エ	ズ	■	チ

先月の答え
『ハルノイチ』

南溟館イベント情報

開 9:00～17:00 ※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
問 TEL72-9998

南溟館特別企画展『加藤勝海日本画展』

本市出身で京都在住の日本画家・加藤勝海氏の作品展
●**会期**　4月15日（日）～5月20日（日）
●**会場**　南溟館（全館展示）
●**観覧料**　大人＝200円、大学生以下＝無料

青空美術館を描こう！親子スケッチ教室参加者募集

昨年、駅通りの歩道などに立体作品が設置されたのを記念して開催します。作品は後日「にぎわいサロン」（駅通り・立神電器となり）に展示します。
●**日時**　5月13日（日）　午前9時～正午 ※小雨決行
●**場所**　アートストリート「青空美術館」（市役所通り～駅通り）
●**対象**　幼児、児童、生徒とその保護者（子ども会等の引率でも可）
●**申込期限**　5月10日（木）午後5時（定員40名）
●**申込み・問合せ**　南溟館